

青年対策交流集会報告書

東北地方青年部八戸支部 通運支部
東北地方青年婦人部 財政部長 斉藤 翔

青年対策交流集会を終えて色々な事を学び感じる事ができました。全港湾の歴史、青年部の歴史、レクリエーション、懇親会、色々な学習や交流がありました。学習に関しては鈴木中央執行委員長が全港湾の歴史について説明していただきました。特に印象に残っているのは過去の先輩たちから今の人達が勝ち取ってきた権利、戦争に対しての準備、全港湾は戦って行く組合と言うことです。法律や憲法など知識がなければ権利も勝ち取っていく事も出来ない、会社などの協議もやはり知識がなければ意見も主張も通ることは厳しいと学びました。戦争となった時に真っ先に狙われるのは、港、原子力発電所などと聞いて青森県に住んでいる中で港もあれば原子力発電所もあります。その中で他国との連携や協力を密にしていかなる時にも対応していくことが大切だとおもいました。

そして全港湾は戦う組合という事、一人ではなくみんなで共有し意見を合わせてみんなで戦って行く、決して一人でやるのではなくみんなで共有していく事が大切だと思いました。

青年部の歴史に関しては松永全港湾中央執行部書記長が説明していただきました。「今の青年部はまだまだ覇気がないよ」と言う事本当に全港湾、過去の青年部の歴史を覚えないならそんな感じなら応援も出来ないし青年部の予算も増やせないよと喝を貰いました。過去の人達を見れば上の人がいる中でも自分の意見、主張して行き積極的に発言することや物事を知る為に見たり、聞いたり自分で動かなければ何も得られない事ただ渡されて供給されても自分の為にはならない本当に覚えてそれを自分の物にする為には自分がアクションを起こさないと意味がないことを学びました。

この三日間違う地方の青年部と交流、宿泊をして最初は何を話せば探り探りの中で正直早く時間がたたないかなと思いました。けど時間がたつに連れて色々な話をして段々に打ち解けて最後はもっと話をしておけば良かったと思いました。最後に中央の方々には多忙な時に歴史についての説明や熱いお言葉、名古屋支部はスケジュール作成や準備などありがとうございました。